

岩手県軽米町の再エネ電力を横浜市内事業者に供給開始 「再エネ受給開始式」を開催！

岩手県軽米町は、ゼロカーボン市区町村協議会の発起自治体の一つであり、横浜市と再生可能エネルギーに関する連携協定を締結しています。

このたび、岩手県軽米町で発電された再生可能エネルギー由来電気を新たに横浜市内事業者に供給することになりました。

これを記念して、「岩手県軽米町・横浜市 再エネ受給開始式」を開催します。

今後も、このような取組を通じて自治体間の連携を通じた地域活性化を図るとともに、市内事業者への再エネ導入を進め、2050年までの脱炭素社会の実現を目指します。

1 「岩手県軽米町・横浜市 再エネ受給開始式」概要

日時 令和3年4月26日（月） 14時00分～14時20分

場所 横浜市庁舎 31階レセプションルーム

出席者(予定)

自治体 軽米町 山本 賢一町長（オンラインでの御出席）、横浜市 林 文子市長

需要家(五十音順)※ 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ、有限会社昇竜（御欠席）、
都筑開発株式会社、株式会社ポーレ

供給事業者(五十音順) くろしお風力発電株式会社、みんな電力株式会社



神大寺地区センター

特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ



神奈川地区センター



都筑開発株式会社



ぼれぼれ保育園 藤が丘

株式会社ポーレ

※需要家に横浜市風力発電所（ハマウィング）も含まれ、施設点検等での停止時に電力の供給を受けます。

2 当日の流れ

開会

挨拶（林文子市長、山本賢一軽米町長）

来賓紹介（需要家・供給事業者）

記念写真撮影

閉会

3 取材について

取材を希望される場合は、4月23日（金）17時までに、裏面お問い合わせ先まで御連絡ください。

4 岩手県軽米町について

人口 8,671 人、世帯数 3,751 世帯（令和 3 年 4 月現在） 面積：およそ 245.82 km²

軽米町は岩手県の最北端に位置する町です。東は久慈平岳を望み、洋野町と、南は久慈市と九戸村、西は折爪岳を隔て二戸市と、そして北は青森県八戸市、南部町、階上町と隣接しています。緑豊かな森林の丘陵地や雪谷川や瀬月内川の水資源など北上山地の織りなす自然美と、のどかな農村風景が融合し、人と自然が共生する美しい景観を誇ります。



◆軽米風力発電所

発電事業者 くろしお風力発電株式会社（日立サステナブルエナジー株式会社 100%出資）

場所 岩手県九戸郡軽米町大字晴山第 27 地割地内

発電出力 1 基 1,990KW(1.99MW) 一般家庭 約 1,200 世帯相当

連携協定について

横浜市の再エネの創出ポテンシャルは現在の消費量に対し約 10%と試算され、再エネへ転換するためには、広域連携による市域外からの供給が必要不可欠です。

そこで本市は再エネ資源を豊富に有する 13 市町村と「地域循環共生圏」の考え方にに基づき、再生可能エネルギーに関する連携協定を締結しました。

▶連携協定の対象分野

- (1) 再生可能エネルギーの創出・導入・利用拡大に関すること
- (2) 脱炭素化の推進を通じた住民・地域企業主体の相互の地域活力の創出に関すること
- (3) 再生可能エネルギー及び地域循環共生圏の構築に係る国等への政策提言に関すること

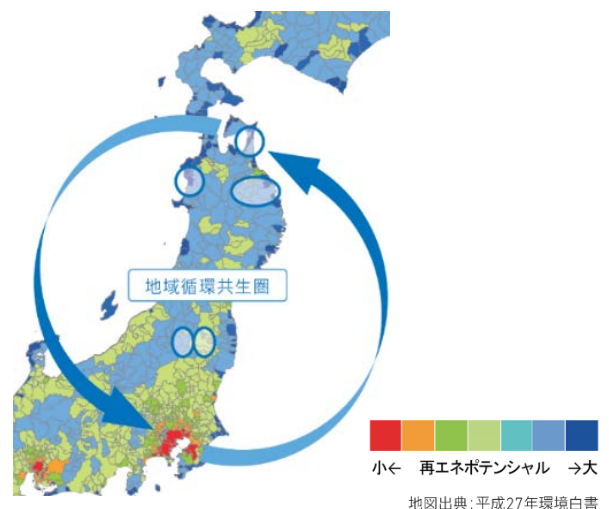
▶連携締結市町村

- ・青森県横浜町
- ・岩手県県北広域振興局対象自治体等（9 市町村）
（久慈市、二戸市、葛巻町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町）

- ・秋田県八峰町
- ・福島県会津若松市
- ・福島県郡山市

▶連携のイメージ

横浜市…市内における再生可能エネルギーの利用拡大
各市町村…再生可能エネルギーの供給・拡大



お問合せ先

温暖化対策統括本部調整課担当課長 宮島 弘樹 Tel: 045-671-2336